



令和 8 年（2026 年）4 月 7 日 公表
 令和 7 年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

ケンサキイカ（日本海・東シナ海系群）

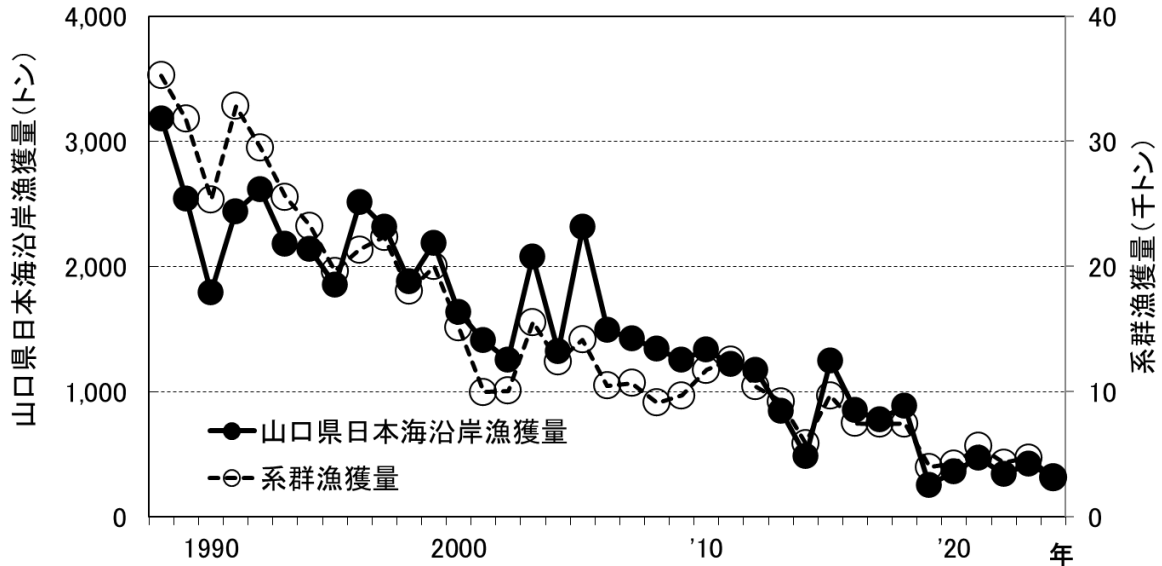


図 山口県日本海沿岸（山口農林水産統計年報、2007 年以降は推定値）及び日本海・東シナ海系群（(国研) 水産研究・教育機構資源評価報告書）のケンサキイカ漁獲量の推移

【漁業】ケンサキイカは主に春から秋にいか釣り漁獲される。春から初夏には大型の成熟群、秋には小型の未熟群が主に漁獲される。

【漁獲量】山口県日本海沿岸の漁獲量は、近年では 2005 年をピークとして減少し、2014 年には 483 トンに低下した。2015 年には漁獲量は 1,246 トンと一旦回復したものの、その後再び減少し、2024 年は 317 トンであった。日本海西部～東シナ海における漁獲量は、1988 年には 3.53 万トンだったが、変動を伴いながら減少し、その後も増減を繰り返しながら低水準にとどまっている。2024 年の漁獲量は、過去最低の 3,142 トンであった。

【資源状態】1988 年以降の系群の漁獲量の最大値と最小値の間を 3 等分して資源水準を判断し、2024 年の漁獲量から水準は低位と判断された。また、CPUE を基に算出した資源量指標値の直近 5 年の推移より、資源動向は横ばいと判断された。

資源の水準・動向		2024 年漁獲量	2026 年 ABCtarget	2026 年 ABClimit
水準	動向	(千トン)	(千トン)	(千トン)
低位	横ばい	3.1	2.5	3.1